

安城市内景況調査結果 (平成28年4月～6月)

< 来期も今期同様に依然厳しい状態が続いていく見通し >

1. 調査対象 対象企業数 会議所役員・会員事業所 60企業

2. 調査対象時期 平成28年4～6月期

(1)前年同期(平成27年4～6月)と比べた今期の状況

(2)今期と比べた来期(平成28年7～9月)の先行き見通し

3. 企業数内訳

	製造業	小売・卸業	建設業	サービス業	計
企業数	15	16	12	17	60
構成比	25.0%	26.7%	20.0%	28.3%	100.0%

安城市内の今期の業況判断DIを詳しく見ると下記の表のとおり、△0.1ポイントとなった。全産業において借入難度DIは上昇判断となった。来期については今期以上に厳しい状態が予測される。特に業況判断については大幅な下降となる見通しである。

	前年同期比 (前 回)	前年同期比 (今 回)	来期の 見通し
業況判断	△0.1	△13.0	△18.5
売上高	△2.7	△27.7	△12.9
売上単価	△6.7	△27.8	△24.1
資金繰り	△1.3	△11.1	△11.1
借入難度	16.0	1.9	△7.4
収益状況	△10.7	△27.8	△14.8
雇用人員	△24.1	△20.3	△24.0

凡例▶

30以上  10を超える  10～△10  △10を超える  △30以上 

		全 産 業									
		製 造 業		小 売 ・ 卸 業		建 設 業		サ ー ビ ス 業			
前 年 同 期 対 比	業 況 判 断	△13.0		△15.4		△7.7		△28.6		0.0	
	売 上 高	△27.7		△23.1		△46.2		△21.4		△21.4	
	売 上 単 価	△27.8		△30.8		△30.8		△28.6		△21.4	
	資 金 繰 り	△11.1		△15.4		0.0		△7.1		△21.5	
	借 入 難 度	1.9		0.0		0.0		7.1		0.0	
	収 益 状 況	△27.8		△15.4		△46.2		△14.3		△35.7	
	雇 用 人 員	△20.3		0.0		△23.1		△50.0		△7.1	
来 期 の 見 通 し	業 況 判 断	△18.5		△15.4		△38.5		△14.3		△7.1	
	売 上 高	△12.9		△15.4		△15.4		△14.3		△7.1	
	売 上 単 価	△24.1		△30.8		△30.8		△14.4		△21.4	
	資 金 繰 り	△11.1		△15.4		△23.1		14.3		△21.5	
	借 入 難 度	△7.4		△15.4		△15.4		7.1		△7.1	
	収 益 状 況	△14.8		△15.4		△38.5		0.0		△7.1	
	雇 用 人 員	△24.0		△15.4		△7.7		△57.1		△14.3	

※DIとは、「ディフュージョン・インデックス」(景気動向指数)の略で、各調査項目について「増加」(好転、やや好転)した企業割合から、「減少」(やや悪化、悪化)した企業割合を差し引いた値である。例えば、売上で「増加」25%、「不変」60%、「減少」15%の場合のDIは、25-15=10となる。

今後も、四半期ごとに景況調査を実施いたしますので、ご協力の程よろしくお願いたします。
 なお、詳しい指標は、当所ホームページの「景況調査」のページをご覧ください。